定例会の議案審議、一般質問などの詳細は、上記のQRコードから映像でご覧いただけます。

8月号

ふじいでら市議会だより

編集・発行/藤井寺市議会
☎939・1208

令和6年第1回臨時会のあらまし

令和6年第1回臨時会は5月21日に開催され、議会構成の改選をはじめ(7月号掲載)、報告案件、人事案件、補正予算など市長提出議案について、本会議を通じて慎重に審議を行い、すべての案件を議決しました。

令和6年第2回定例会のあらまし

令和6年第2回定例会は6月13日から7月9日までの27日間の会期で開催され、令和6年度の補正予算、報告案件、条例の一部改正、人事案件などについて、委員会・本会議を通じて慎重に審議を行い、すべての案件を議決して閉会しました。

国に意見書を提出

次の意見書を全会一致で採択し、関係機関に善処を求めました。

◎災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書

議会だより編集委員会　委員長：國下　尊央、副委員長：横山　太喜、委員：長尾　匡浩、水谷　雄路、花崎　由貴子、松木　洋介

一般質問

日本共産党
代表質問
木下　誇

1　大阪関西万博について

(1)子どもたちの校外学習について

質問　令和6年3月28日に万博会場でガス爆発事故が発生しました。会場の夢洲では現在も可燃性ガスが発生しており危険は解消していません。会場の安全性に対する懸念や不安が解消されない中で子どもたちの校外学習先として大阪万博を選定することは大きな問題だと考えますがお考えをお聞かせください。

答弁　時代を担う子どもたちが先進的な科学技術や参加国の多様な文化等を直接触れる良い機会だと考えます。ただ、現段階では課題について不確定な部分がいくつもあり、大阪府や万博協会等からの情報を注視していきます。

質問　小中学校の校外学習は本来、どのような点に注意して計画されるのかお聞かせください。

答弁　移動経路や緊急時の連絡体制、当日の引率者や教員配置、昼食やトイレ等の休憩する場所を事前に下見等で確認する必要があります。

要望　万博へ学校行事の校外学習として取り組むには児童生徒の安全確保や十分な学習ができるかが重要です。しかし事前の下見等含め、その見通しが持てない状況です。市町村教育長からも府教育庁へ緊急要望書が提出されています。児童生徒の安全の確保が確認できるまで万博への校外学習は見送るべきです。

(2)万博協会への職員派遣について

質問　万博協会からの要請により令和5年5月から10月まで1人、令和6年1月から令和8年3月までの予定で1人を派遣しています。この派遣職員の給与は派遣法に基づき市と万博協会で負担しています。派遣職員の業務内容をお聞かせください。

答弁　万博で得られるデータの利活用に関する業務、マスコミ対応に関する業務等です。

要望　派遣法第6条には、派遣職員の期間中給与は原則支給しないとしています。今回、例外規定を適用して市から給与を支給しています。市の現在の事務事業にどのような効率的・効果的な実施が図られるか具体的に説明できていません。今回の派遣が本当に給与の支給の目的に資するのか精査し、派遣職員の引き上げを検討してください。

2　アイセルシュラホール観光拠点化の撤回を求める

質問　私どもは反対しましたが、万博の開幕に合わせてアイセルシュラホールの観光拠点化に伴う内装工事を約9500万円かけて実施する工事費用の予算が可決され進められようとしています。市民の皆さん、特にシュラホール周辺住民の方々への説明会を早急に開くべきだと考えますが市長いかがですか。

答弁　今後も提供できる情報はしっかりと発信し、市民・近隣の方々にご理解とご支援いただけるように取り組んでいきたい。

要望　ホームページやパブリックコメントだけの発信ではなく、せめて地元住民の方々への説明会はちゃんと実施すべきです。

　また、あくまで万博開幕に合わせた事業スケジュールのため、多額の税金を使うにも関わらず、観光拠点化の事業計画(案)もこのまま進めていいのか判断できる内容になっていません。万博の入場券の販売実績は前売り販売目標の約19%です。しっかりと事業計画を練り直し、市民に説明と理解を得るべきです。大阪万博開幕ありきの観光拠点化は撤回するよう強く求めます。

3　現行保険証廃止について市の認識を問う

日本共産党
個人質問
長尾　匡浩

1　災害に強い避難所設置・設備機能の強化を求める

(1)学校避難所設備について

質問　道明寺中学校で停電が発生しました。災害時に備えることが必要です。学校の非常用電源の有無と災害時の電力確保状況について教えてください。

答弁　全学校に自家用発電機はなく、災害時は一定の電化製品が使用できる備蓄をしています。

要望　発電機等設備の確保を引き続き行い、電気設備は必要に応じて交換を行ってください。

(2)指定福祉避難所の設置について

質問　要配慮者へのケアを行うため介護専門職との協定を結ぶことが必要です、いかがですか。

答弁　専門職による対応は有用な対策と思われます。

質問　本市の福祉避難所の体制強化、設備や人員の整った社会福祉施設等を活用した指定福祉避難所の設置が必要と考えますが、認識をお聞かせください。

答弁　関係部署と関係機関と協議検討を進めることが必要であると認識しています。

要望　本市の福祉避難所の体制強化や要配慮者のケアを行う介護専門職の協定、指定福祉避難所の設置の協議を行ってください。

2　公共交通の充実のために

質問　現在の検討状況と新たな交通施策の実証運行は令和7年4月開始できるのでしょうか。

答弁　現在、会議体の設置中で開催数や議題はまだ決まっていません。令和7年度中、早ければ4月の開始を目指しています。

要望　令和7年4月の実証運行の開始に向け、会議を早急に開催し利用促進策としてバス・タクシーの割引券配布の検討を会議の議題に入れ協議してください。

改革ふじいでら
代表質問
畑　謙太朗

1　行財政改革について

(1)本市の取り組みについて

ア.　財政収支見通しについて

質問　令和9年度に実質収支が赤字になる根拠についてお聞かせください。

答弁　収支不足を補う財政調整基金が枯渇するためです。

質問　収支見通しには公共施設の改修改善や旧市民病院などの除去費用は見込まれていますか。

答弁　体育館・図書館の耐震化旧支所の除去費用は見込んでいますが、旧市民病院の除去費用は見込んでおりません。

要望　相当の費用が見込まれると思うので想定内の対応ができるよう取り組んでください。

イ．アクションプラン2020の総括について

質問　4つの数値目標の達成状況についてお聞かせください。

答弁　令和4年度末段階で、経常収支比率90％台の維持は目標達成、シーリング設定による歳出削減、実質単年度収支の黒字化、財政調整基金残高20億円以上は未達成となっています。

ウ．行財政改革推進プラン2024について

質問　このプランの目標を実質収支赤字の回避とされていますがその理由をお聞かせください。

答弁　収支見通しにおいて令和9年度が実質収支の赤字見込みとしており、まずはこれを回避するとともに、それ以降も赤字とならないよう取り組みを進めていきたいと考えています。

質問　この計画の目標額についてお聞かせください。

答弁　現時点では約4億7千万円を目安としています。

質問　行政評価制度の実施についてお聞かせください。

答弁　行政サービスを必要性、効率性、成果などの観点から客観的に評価することによる事業の見直しを検討するための手法であり、本市にとって最適と判断されれば実施の可能性があるものと考えています。

要望　行政評価制度は本市事業の費用対効果を検証できるものと認識しています。しっかり取り組んでください。

質問　健全財政の条例化についてお聞かせください。

答弁　財政の健全化に資することを目的として、使用料、補助金等の見直し、基金の管理、地方債の発行、財務書類の公表、財政収支見通しの作成、財政運営判断指標の公表等の財政運営の指針及び基本的な原則を条例で定めるものです。

要望　条例化により自治体の自律性が損なわれ、首長の執行権を阻害しないか危惧します。慎重に取り組んでください。

質問　公立保育園の民営化や幼稚園の統合について市の見解をお聞かせください。

答弁　市立幼稚園・保育所あり方検討部会において市立幼稚園・保育所再編実行計画の令和6年度中の策定完了をめざし進めてまいります。

質問　学校プールのあり方についてお聞かせください。

答弁　学校プールは建築後60年経過するものもあり、今後多額の改修費用が見込まれます。既存のまま利用し続ける場合や民間への委託など掛かる費用と授業時数、子どもたちへの負担の度合いなど教育的観点から検討を進めてまいります。

2　スポーツ施設の予約システムについて

(1)現状と改善策について

質問　抽選申し込みをする際に会員数の多い団体の当選確率が高くなり不公平感があるように思われますが改善策はお考えでしょうか。

答弁　令和6年10月からＬＩＮＥを活用した予約システムに移行する検討を進めています。その際に不公平感を軽減できるよう取り組んでまいります。

改革ふじいでら　個人質問

横山　太喜

1　学校教育について

(1)本市のめざす教育方針について

質問　本市の教育方針を伺います。

答弁　自ら人生を切り開き社会に貢献する人を育むことをめざしております。

質問　人生を切り開くには目標を立て、それを実現させるために論理的に物事を組み立てる能力が不可欠です。子どもが目標すなわち夢を持ち、その実現のために計画を立て、実行し、検証する。これは社会に出てからも必要な力です。このような思考力を育むための取り組みを伺います。

答弁　学習した知識や技能を生かし、子ども自身が追求したいテーマを設定し、まとめ・発表する活動を行っております。

(2)教職員の働き方改革について

質問　教職員の時間外勤務、部活動指導、支援の必要な子どもや家庭への対応など、教育方針を実現するためには教職員の働き方改革が必要です。具体的な取り組みを伺います。

答弁　専科・部活指導員の配置、ストレスチェック制度や自動採点システムの導入など様々な取り組みを実施しております。

要望　職員の働き方改革を推進して新たな学習プログラムを調査研究する時間や、子どもたちと接する機会を増加させるようにしてください。

2　人事評価制度について

(1)人事評価制度の見直しについて

質問　職員のモチベーション向上および納得感のある評価制度について伺います。

答弁　職員の長所と短所を明らかにしてフィードバックすることで、意欲のある優秀な人材を育成し、それが市民サービス向上につながると考えております。

要望　いつまでに納得感のある人事評価制度に見直すのか、その工程を示してください。またその際に職員の声を反映させる仕組みを取り入れてください。

3　ふるさと納税について

(1)魅力発信課について

質問　令和5年からの要望が実現し3課に分担していたふるさと納税の業務が一元化され、魅力発信課を創設いただいた点は高く評価いたします。また現在の取り組み状況を伺います。

答弁　現在は特に企業版ふるさと納税の獲得に注力しており、支援事業者4社と契約を行い、寄附金獲得に向けて取り組んでおります。

(2)企業版ふるさと納税について

質問　支援事業者との契約は当市に寄附いただける企業を紹介することで対価を得る成功報酬型です。そのため契約事業者を更に増やすべきだと考えます。

答弁　契約事業者を増やすことも視野に入れ、他の事業者と協議を進めております。

要望　要望が実現し魅力発信課が創設されたことで、やっと本気でふるさと納税に取り組む体制が整いました。今後は寄附金額10億円を目指してください。達成できれば約3億円の税収増加につながります。そのためにはまず魅力発信課の人員を増やしてください。また岐阜県飛騨市では猫を通じて社会問題を解決する事業のみで寄附額5億円を達成しております。当市でも動物と共生するまちを目指し、動物愛護に資する寄附項目の追加を要望いたします。

横山太喜の議会質問の録画映像はこちら▼

公明党 代表質問 水谷 雄路

1　旧市民病院廃院後の連携協定について

質問　青山病院が災害拠点病院として役割を担うことになり、災害時の救急体制など、対応できる備えはできておられるのか。お聞かせください。

答弁　令和6年4月から青山病院が新たに災害拠点病院として運用されることになりました。市民病院の廃院決定後、青山病院との間では引き継ぎはもとより、連携協定に基づく様々な協議・調整を行ってまいりました。また、災害を想定した訓練を令和6年6月下旬に実施することとなりました。

質問　市内の医療機関の手薄な分野が補充できるよう南河内地域の基幹医療機関である、はびきの医療センターと協定が結ばれております。取り組み状況をお聞かせください。

答弁　南河内地域の基幹医療機関として地域に根差した医療の提供を担っているはびきの医療センターとは、令和5年の市民病院の廃院決定を受け、令和6年2月に連携協定を交わし、関係強化を図っております。3月には、センターの各診療科の医師と市内医療機関の先生方との交流の場が設けられ、地域医療の連携強化、信頼関係の構築につながるものでした。今後は、幅広く市民が安心して医療を受けられるよう、事務レベルにおいても意見交換、情報交換を密に行い、医療環境の充実に努めてまいります。

要望　今後も引き続き市民の皆様に安心して医療が受けられるよう、医療機関の充実を要望します。

2　大規模災害に備える携帯トイレ等の備蓄の推進について

(1)携帯トイレの備蓄の現状と今後について

質問　現状と今後の方針についてお聞かせください。

答弁　大阪府と協議を重ねながら、引き続き備蓄の充実に努めます。

(2)介護や障害福祉施設における携帯トイレ等の備蓄のについて

要望　万全な体制、対策を取り組んでいただくよう要望します。

3　地方都市の活性化について

(1)地方創生関係交付金について

質問　地方創生関係交付金を利用して、取り組んでいる事例はあるのか教えてください。

答弁　市商工会や地域金融機関と連携し魅力的な店舗を創業するためのセミナーや補助金を交付する事業に活用しています。

要望　市の活性化、安定した雇用の為、様々な制度の積極的な取り組みの周知を要望します。

4　旧市民会館分館、旧市民病院の建物管理について

(1)旧市民総合会館分館の建物管理について

質問　安全面から早急に除去する必要があると考えますが、今後についてお聞かせください。

答弁　除却工事に伴う設計業務委託の入札を行ったうえで、今後の設計業務の進行状況や予算の確保に応じて、具体的なスケジュールを決定してまいります。

要望　具体的な内容が決まり次第公表してください。

(2)旧市民病院の建物管理について

質問　現在の建物管理状況を教えてください。

答弁　担当職員が連日病院に赴き、建物内部や外周などについて点検。無人となる時間帯においては機械警備を行っております。

要望　近隣住民に迷惑がかからないように、市が責任をもって管理していただくよう要望します。

公明党 個人質問 伊藤 政一

1　若者の政治離れについて

(1)投票率について

ア．本市の現状と取り組みについて

質問　選挙権年齢引き下げ以降の国政選挙における投票率についてお聞かせください。

答弁　全国的に10代から20代の投票率は、全世代と比較して大きく下回っています。

質問　投票率向上のための取り組みをお聞かせください。

答弁　投票率向上の取り組みは、広報紙やホームページ、SNSへの掲載、イオン店内放送やデジタルサイネージ、市民総合体育館に期日前投票所増設、選挙支援カード、市内高校への出前授業等を実施しました。

イ．主権者教育について

質問　学校では主権者教育についてどのように取り扱われているかお聞かせください。

答弁　学習指導要領では、今の

諸課題に対応するため、主権者として求められる力を教科等横断的な視点で育んでいます。

要望　成功事例などを参考に、投票率向上に取り組んでいただくことを要望します。

2　外国人の対応について

(1)人権・多様性理解の推進について

ア．国別人数と多様性について

質問　本市には、外国人が何人住まれていますか。

答弁　令和６年５月末現在１０９７人で、国籍では多い順に、ベトナム、韓国、中国、ネパール等となっています。

質問　窓口で外国人との意思疎通はどう対応されていますか。

答弁　窓口には通常日本語を話せる方が同行、または翻訳機などを利用しています。

イ．人権教育について

質問　外国籍の方が増えてくれば、小中学校においても外国籍の児童生徒も増えてきていると思います。学校での多様性理解の取り組みをお聞かせください。

答弁　様々な人権問題を正しく理解するよう児童生徒の発達段階に応じながら学校教育活動全体を通じて進めています。

要望　人権や多様性の反対にあるのが、違いの排除から始まるいじめです。いじめは絶対にいじめる側が悪いです。異なる文化を尊重し合える環境づくりを要望いたします。

3　プライバシー配慮について

(1)女性に配慮した使用例について

ア．AEDに三角巾とリーフレットの配備について

質問　女性に対するAED使用に際し、プライバシー配慮の観点から近年AED収納ケースに三角巾とその使用方法が分かるリーフレットが配備されているが。追加することは有効だと思いますが、いかがでしょうか。

答弁　各施設管理課と協議の上配備を検討していきたい。

(2)軟骨伝導イヤホンによる高齢者への配慮について

質問　高齢など耳の聞こえにくい方の窓口対応をスムーズに行うため、軟骨伝導イヤホンの導入を検討していただけますか。

答弁　近隣の松原市では令和６年から導入されました。必要を感じた来庁者には勧めたケースはあったそうです。

要望　市役所の窓口には、見えにくい人のための老眼鏡はあるのに、聞こえにくい人のための配慮がなぜ無いのだろうか。そこから着目し軟骨伝導イヤホンが製品化されました。聞こえを改善し会話の弾む環境を整えることは認知症予防にもつながります。先行導入市の経過も参考に検討していただくことを要望いたします。

大阪維新の会　代表質問　生田　達也

1　人事評価について

質問　人事評価制度の実施開始年度と導入目的を伺います。

答弁　平成13年度から人材育成、組織力向上及び給与反映を目的に実施しています。

質問　今まで定期的な見直しを行っていない制度ですが、評価する期間と回数を伺います。

答弁　1年間で1回です。

質問　少ないです。現在主流の頻繁な対話、日常的な評価制度が、意欲向上と成長を促します。また現状の評価シートの内容は、画一的で個々に応じず導入目的に沿っていません。普通は期初に評価者の評価観点の説明、また被評価者の評価して欲しい挑戦内容などの説明をする面談を行い、お互いの公平性・納得性を高めますが、それも無い現状は、評価者の主観だけの一方的な評価です。本市は圧倒的に双方の意思疎通が不足していますが、市長の考えを伺います。

答弁　現在、進めている見直しの中で、議員ご指摘の趣旨を踏まえた具体化を図ります。

要望　我々会派は、公平性・客観性・透明性の確保、加えて納得性を高める評価制度の構築を要望いたします。

2　財政について

(1)現社会状況に鑑みた財政について

質問　令和5年度は見込み以上の財政調整基金を取り崩す大変厳しい財政状況です。令和6年度は物価高騰による消費税増収で地方消費税交付金が増額になるのか、更に、賃上げによる市民税増収の可否も伺います。

答弁　個人消費は依然力強さを欠いており消費税減収と見込んでいます。市民税は当初予算より好転するとは考えていません。

質問　歳入が今以上増えないと当初予算の財政調整基金からの4億円はそのまま繰り入れになり、人事院勧告による人件費増と扶助費の増額の可能性を考えるとこの2年間で財政調整基金はかなりの額が減少します。危機的状況に対する令和7年度への市長の考えを伺います。

答弁　大変厳しい財政状況を踏まえ経費削減と財源確保を図り第六次藤井寺市総合計画に掲げる項目の実現を目指します。

(2)進捗状況について

要望　我々会派が要望している自治会活動の保険加入は、次の議会で予算要求内容を答弁ください。また、アイセルシュラホール観光拠点化事業への企業版ふるさと納税、クラウドファンディングなどによるご支援を賜る取り組みを、関係課でしっかり連携し実行に移してください。

大阪維新の会　個人質問　松木　洋介

1　能力に基づいた昇格について

質問　少子高齢化や物価高騰、また、今後予想される税収の減や多種多様な市民サービスへの対応、各自治体が抱える課題と対応力は増加の一途を辿っている昨今では、各自治体に課題解決能力の向上、財源の有効活用や広域連携、現状を打破する斬新な発想が求められ、若手の力も必要不可欠であると考えま

す。まず、本市に30歳代の課長級の職員がいるのかを伺います。

答弁　現状、本市に30歳代の課長級職員は存在していません。

質問　現状は能力のある職員が早期に昇格できる制度ではないと思いますが、詳細を伺います。

答弁　制度化していません。昇格基準は制度化の必要性を感じておりますので、先進事例も研究し進めたいと考えています。

質問　能力のある若手職員が早期から昇格できる内容も含まれていますか。

答弁　能力や実績に基づく人事管理が必要だと認識しており、議員質問の観点も含めて進めてまいりたいと考えています。

要望　世間は官民問わず、年功序列を脱して能力や業績に主眼をおいた動きです。能力のある職員の早期昇格や、若手職員の流出抑制、目標をもてる制度設計が必要と考えます。早期からのキャリアパス形成はより公平性、透明性、客観性、納得性が高い評価が必須となりますので、その点を重視した制度設計と同僚や部下からも評価ができる多面性評価の導入も要望します。

2　ライドシェアについて

要望　ライドシェアの導入は観光という側面から百舌鳥・古市古墳群や神社仏閣巡り、そして、時間を気にすることなく飲食を堪能できるための一手や副業として生活を安定させるというニーズへの対応につながります。また、昨今のタクシー不足の解消や公共交通だけでは対応が難しい場面の補完的な役割を担う一手となりえることから、市民や来訪者に対しての利便性の向上にも期待されます。国の動向に注視し運行が可能となった際には円滑に導入が進みますよう、できることを始めてください。

大阪維新の会
個人質問
河井　計実

1　DX推進課について

質問　令和6年4月の機構改革で創設されたDX推進課の具体的な取り組みについて教えてください。

答弁　DX推進課は各部署一体となり自治体DXを推進するため、各課が抱える課題の整理、デジタル技術提案、総合調整など伴走支援します。国の計画などに基づき行政手続のオンライン化や情報システムの標準化・ICTの活用を進めます。

質問　現在直面している課題と対策を具体的に教えてください。

答弁　システム導入費や機器更新費用増加、職員のデジタルリテラシー向上、セキュリティ対策、デジタル人材の確保と育成、全庁的な推進体制の確立です。

質問　DX推進の将来計画と具体的施策を教えてください。

答弁　多様化する住民ニーズに対応するため、DX推進と職員の意識改革が特に重要です。

要望　自治体DXではデジタル化だけでなく、業務の変革が重要です。デジタル技術は手段であり、業務効率化や住民サービス向上が目的です。人材育成も不可欠ですので、デジタル研修などを活用し進めてください。

2　大阪・関西万博に向けた取り組みについて

質問　万博に向けた本市の魅力発信の具体例を教えてください。

答弁　エキスポフェスや魅力発掘フェスタ、あべてんフェスで本市のPRを行い、魅力をアピールしました。

質問　今後の具体的な計画や万博への目標を教えてください。

答弁　JR主催の「大阪ディスティネーションキャンペーン」が行われます。世界遺産やまちの魅力をアピールし、ツアーパッケージを造成し、近隣市町村と連携し、アイセルシュラホールを観光拠点として地域経済の活性化を図ります。

要望　大阪・関西万博を契機に歴史資産をアピールし、万博後もPRを継続し、鉄道や高速道路の利便性と歴史資産の融合が魅力である本市の知名度向上と移住定住を促進してください。また、アイセルシュラホールを観光拠点だけでなく市民の憩いの場としても活用し、近隣市町村と連携して地域経済の活性化を図る事を要望します。

大阪維新の会の議会質問の録画映像はこちら▼

政新クラブ
代表質問
國下　尊央

1　令和5年度決算見込みについて

質問　令和5年度一般会計決算見込みについて伺います。

答弁　現在、決算分析を含め整理等を進めているところで、令和6年9月議会で議案提出をさせていただく予定です。決算整理を進めている現時点で、収支見通しにおける、令和5年度見込みよりも、財政調整基金からの繰入金が増加する見込みでございます。

質問　行財政改革プラン2024で具体的に実行を目指す取り組みについてお聞かせください。

答弁　持続可能な行政運営の実現を目指すこととしており事業の見直し、施設の最適化、積極的な財源の確保に基づく集中改革項目に重点的に取り組む必要があると認識しております。

要望　市民の生命や財産を守るためにも早急な「事業の見直し」を強く要望いたします。会派から要望し続けている「部長マネジメントによる部単位での枠配分予算」もその一つです。検討の域を出ていただき、現状を把握したうえで適切な目標設定を行い、目標を達成するために何をする必要があるのか、だから今、何をしなければならないのか、知恵と工夫、思考と歩みを止めず、「笑顔と活気に満ちた快適なまち　ふじいでら」の実現に向けて職員一丸となって取り組みを進めていただくことを要望します。

2　コンプライアンスについて

質問　令和6年度の機構改革

で、コンプライアンス担当が置かれましたが風通しの良い職場づくりの他どのような意図で設置されたのか教えてください。

答弁　職員のコンプライアンス意識の向上、法令遵守の徹底、服務規律の遵守、適正な事務執行、良好な職場環境の確保などに主眼を置いた取り組みを進めることを目的とし設置しました。

要望　現在、東京都においては、民間企業におけるカスタマーハラスメントの増加を受けて官民構わず就業者の良好な就業環境の維持を目的に全国初となるカスタマーハラスメントを防ぐ条例の制定化など、その対策に乗り出していると聞いております。当市でも職員が安心して働けることが、ひいては市民サービスの向上につながると思います。市民サービスの向上に向けては、やはり風通しの良い良好な職場環境の整備があってこそだと考えます。コンプライアンスの推進はもとより本市でのこれまでの取り組みを補完する意味でもカスハラ対策には相談体制の構築マニュアルの事前準備含めた検討もお願いしておきます。

政新クラブ
個人質問
岡本　光

1　市民病院の跡地活用について

質問　廃院後の跡地の整備に向けた市の組織体制についてお聞かせください。

答弁　FM推進課に病院跡地構想検討担当を設け、推進体制を整えています。

質問　市民の皆さんの声を反映するために具体的にどのようなことに取り組もうとしているのかお聞かせください。

答弁　アンケート調査やワークショップの実施、外部委員会を設置し市民の声を反映したい。

質問　地域の災害対策も考慮に入れるべきだと考えますが、お考えをお聞かせください。

答弁　緊急時の避難機能が備わるよう努めるなど地域住民の安全・安心の確保にも留意します。

質問　市立保育所、幼稚園の再整備を進めることについて、お考えをお聞かせください。

答弁　保育所や幼稚園の老朽化が進んでいることは認識しており、令和6年度には「藤井寺市立幼稚園・保育所再編実行計画(後期計画)」を策定予定です。

質問　将来的な市政運営を視野に入れ、検討を進めることが大切であると思いますが、いかがでしょうか。

答弁　改定中の都市計画マスタープランとあわせて、立地適正化計画を策定し、市全体の都市デザインを示しつつ、公共施設再編基本計画を軸に、再編・再整備を進めてまいります。

要望　廃院後の道明寺地区は閑散とした状況となっています。公共施設の適正配置と言われますが廃止ばかりで整備が進みません。地域の子どもたちが成長できる公共施設用地としての活用を強く要望します。以前も同僚議員から同じ趣旨の要望がありました。地域の声を代表していることをご理解いただき、今後の検討を進めていただくよう要望します。

2　学校のトイレ改修について

質問　第六次総合計画に学校トイレ洋式化率の数値目標が示されていますが令和6年度予算が計上されていません。数値目標達成は可能なのでしょうか。

答弁　令和4年度末の洋式化率は64・21％です。令和7年度以降で第六次総合計画に示された目標達成のため取り組む必要があります。

質問　改修が必要な学校は何校あるのでしょうか。

答弁　残り5校です。

要望　本市の小中学校の洋式化率は全国平均を下回っており、さらなる対応が求められますが、改修のペースが遅いように感じます。国庫補助もあるようですので活用していただくよう要望します。

政新クラブの議会質問の録画映像はこちら▼

会派に属さない議員
個人質問
花崎　由貴子

1．綱紀粛正と公表指針について

質問　職員が市民を侮辱していた件について調査しない理由を市に聞いたところ「公然性がなく非違行為に該当するおそれが低く調査対象になりえないため」との回答があり、法務局に相談に行くと、職員間の内部事情や市民の情報漏洩のおそれがあるという見解でした。この指摘について、どう思われますか。

答弁　詳細が不明であるので見解は差し控えます。

質問　職員が刑事事件を起こしても懲戒処分にならずに倫理観を高められると思われますか。

答弁　不祥事に対しては適切に対処しております。

要望　不祥事は、些細なことでも、公正に懲戒処分し公表して、市政の倫理観や透明性を高め、事なかれ主義を改め信頼できる市役所へと意識改革を求めます。

2．子どもの声を聴く体制づくりについて

質問　学校現場での相談はスクールカウンセラーを活用できますが、現状はどのように配置されていますか。

答弁　令和6年度からは、全小中学校に配置できました。

質問　スクールカウンセラーを利用することに抵抗感を持つ子どもの相談先はどこですか。

答弁　本市のこども家庭センターです。

要望　相談先の周知方法が充分でないので、充実させてください。アイセルシュラホールの改修工事に経費がかかるために、子どもの支援にかける予算がないと言うなら言語道断です。こども家庭センターへの通話料金は無料に、子どもの相談窓口の相談員の配置の検討など、子どもの声を聴く体制づくりの充実を求めます。

令和6年第1回臨時会・第2回定例会議決結果一覧

	会派・議員名 / 議案番号・議案名		ふじいでら改革			公明党			維新の会大阪				政新クラブ		日本共産党		無会派	結果
			山本忠司	畑謙太朗	横山太喜	片山敬子	伊藤政一	水谷雄路	生田達也	松木洋介	河井計実	國下尊央	岡本光	木下誇	長尾匡浩	花崎由貴子	
第1回臨時会	報告第2号	専決処分の承認を求めることについて(市税条例の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長のため表決せず	○	○	○	承認
	報告第3号	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度藤井寺市一般会計補正予算(第13号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	承認
	議案第35号	損害賠償の額の決定及び和解について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	原案可決
	議案第36号	藤井寺市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	同意
	議案第37号	令和6年度藤井寺市一般会計補正予算(第２号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	原案可決
第2回定例会	議案第38号	執行機関の附属機関に関する条例の一部改正について	○	○	○	議長のため表決せず	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第39号	藤井寺市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第40号	市税条例の一部改正について	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第41号	藤井寺市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第42号	藤井寺市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第43号	藤井寺市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第44号	令和6年度藤井寺市一般会計補正予算(第3号)について	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第45号	令和6年度藤井寺市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

※表の見方　「○」は賛成　「×」は反対

第2回定例会	令和5年度藤井寺市一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について
	令和5年度藤井寺市公共下水道事業会計予算繰越計算書の報告について
	公益財団法人藤井寺市地域サービス公社の経営状況の報告について
	公益財団法人藤井寺市勤労者互助会の経営状況の報告について

令和6年第3回定例会のお知らせ

【本会議】
9月3日(火)議案説明
9月12日(木)一般質問
9月13日(金)一般質問など
9月26日(木)委員長報告・採決など

【常任委員会】
9月18日(水)民生文教常任委員会
9月19日(木)総務建設常任委員会

※各日10時から開催します。日程は変更する場合があります。